

「花と泉の公園」の活用に関する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	該当項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	子どもの遊び場	今後、少子化で子どもが減少する中、収支が合うのか。 利用料が無料ということで、会社の経営がやっつけられるのか。 (同様意見ほか4件)	子どもは減少すると思われませんが、施設に特徴を持たせる工夫により利用者数を確保していきたいと考えています。 利用料については、市として子育て支援策の一環として無料とするものであり、運営費は全額、市の負担となることから、花泉観光開発(株) (以下「会社」という。)の収支に影響がでない計画としています。
2	子どもの遊び場	ベゴニア館の建物は壊さないのか。	建物については現状のままで、内部を子どもの遊び場に改修する計画です。
3	子どもの遊び場	ベゴニア館は天井が高く、空調効率が良くないと思うが、子どもの遊び場とした後もこのままで利用していくのか。 空調設備がないと利用できないのではないのか。	現在のところ空調設備が故障しており、改修には多額の経費を要することから、設備を改修せず、自然換気による利用を考えています。 なお、極端に暑かったり寒かったりする場合には、空調設備のあるレストランホールの一部を利用するなどの工夫を検討してまいります。
4	子どもの遊び場	安全面への配慮、衛生面の管理という部分から、子どもの遊び場の職員は1人で大丈夫か。	今回整備しようとする子どもの遊び場は、基本的には親子で一緒に遊ぶ施設と考えており、職員については受付や施設管理のための配置を考えています。 衛生面に関しては、子どもの遊び場だけでなく、施設全体として適切に対応してまいります。

No.	該当項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
5	子どもの遊び場	今後、花泉地域内の小学校が統合するが、地元の伝統文化の継承などの活動の場が失われる心配があるので、子どもの支援の場となるよう検討いただきたい。	各地域の伝統文化の継承は、非常に大きな課題と捉えています。いろいろな団体が利用できる場としてほしいと理解し、意見として参考とさせていただきます。
6	子どもの遊び場	ベゴニア館を子どもの遊び場に変更した場合に、国への補助金返還は生じないのか。	花の生産・展示機能は維持する見直しの内容となっており、当初の施設整備の趣旨から外れるものではないことから、補助金返還は生じないことを確認しています。
7	ドッグラン	犬同士のトラブルは生じないのか。	他の同様の施設では、特にトラブルもなくマナー良く利用されており、利用者（飼い主）の交流の場にもなっていました。
8	ドッグラン	収支に見合うほど利用者が集まるのか。 (同様意見ほか2件)	近隣の自治体には整備されたドッグランがないので、ある程度の集客は見込めるものと思っています。
9	ドッグラン	資料では犬の飼育頭数が単年度のみしか表示されておらず、増減の推移がわからない。	犬の頭数については、単年度分しか調査しておりませんが、増減の推移の調査も必要と感じており、課題とさせていただきます。
10	ドッグラン	今あるドッグランの現状や利用状況はどれくらいか。	ぼたん園内に 800 m ² 程度の規模となっています。現在は無料施設のため利用状況は集計しておりませんが、会社からは年々、利用者が増加傾向にあると聞いています。
11	ドッグラン	ペットと一緒に食事は、衛生上に問題はないのか。 配慮が必要ではないか。 (同様意見ほか1件)	一般の方はレストラン内部（屋内）、ペットと一緒に食事ができるスペースはレストラン外部（屋外）とエリア分けすることとしています。ただし、犬が苦手な方もいらっしゃるので、配慮の点は検討してまいります。

No.	該当項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
12	ドッグラン	本当に採算がとれるものなのか。 (同様意見ほか1件)	試算では近隣施設を参考に利用と収支は固めに見込みましたが、ハード面もさることながらソフト面の充実が重要になると思われますので、会社とともに運営について検討してまいります。
13	生産温室	生産温室はバックヤードなので、人に見せる施設ではないのでは。どのような工夫をするのか。	入場料は無料とし、生産現場のままで展示販売をする施設にしようと考えています。 運営については、利用者の声を聴きながら改善を行っていきたいと考えています。
14	生産温室	花を購入する場合でも入場料を支払うのか。	生産温室については、無料施設とする計画としています。
15	生産温室	ぼたんの最盛期に合わせて、高級なイチゴを栽培してはどうか。	今後は、花だけにとらわれない生産も検討しなければならないと考えています。 イチゴの生産も良い視点だと思っています。
16	生産温室	生産温室は、やめるべきだと思います。 展示温室は、季節の花を露地栽培して展示するべきです。 (同様意見ほか2件)	生産温室に花の生産・展示機能を集約することにより経費節減を図るとともに、これらの機能を残すことで国への補助金返還が生じないようにしています。 季節の花の展示については、参考とさせていただきます。

No.	該当項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
17	施設共通	なぜ、子どもの遊び場やドッグランに変更するのか。	<p>施設の現状、課題及び分析した内容に加え、市に寄せられた要望やワークショップでの意見などを基に検討しました。</p> <p>子どもの遊び場は、公園として観光面ばかりではなく福祉目的の必要性も考慮し、子育て支援の一環として整備するものです。</p> <p>ドッグランは、近隣の自治体に整備された施設がないこと、公園機能の一つである日常的に利用できるレクリエーションの場を充実させるため整備するものです。</p>
18	施設共通	施設内容の見直しをすることによって、経営が安定すると理解して良いか。 (同様意見ほか1件)	全体的にスケールダウンすることにより、入園料収入は減りますが、一方で、出ていく経費が抑えられることによって、会社の経営の安定が図られるものと見込んでおります。
19	施設共通	施設に係る減価償却費は計上されていないのか。	施設は全て市の施設であり、会社の財産ではないことから、会社が購入した備品以外の減価償却費は計上されないこととなります。
20	施設共通	老朽化に伴う修繕の経費は市で賄うのか。	修繕については、指定管理の契約により、5万円以下の修繕は会社が、5万円を超える修繕は市が行うこととしています。
21	施設共通	大きな駐車場をスケボーの練習場として開放して、利用者を集めるような工夫をしないか。	今回はベゴニア館などハード面に関する見直しであり、運営に係るソフト面については、会社とともに工夫してまいります。ご意見として参考とさせていただきます。

No.	該当項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
22	施設共通	補助金返還の制約が続くのはいつまでか。	施設の構造によって処分年限は違いますが、ペゴニア館は設置から39年、レストランは41年、生産温室は31年となっており、今後、約20年間は処分制限が続く見通しです。
23	施設共通	環境整備等、管理の徹底を望む。 (同様意見ほか1件)	園内の草刈り等、環境整備に十分に手が回っていない状況については、課題と捉えています。 適切な維持管理に努めてまいります。
24	施設共通	それぞれの施設の収容能力を超えることはないのか。	子どもの遊び場などは日常的な利用を想定しており、試算の上では、超えることはないと考えています。
25	施設共通	それぞれの施設の料金所があちこちにあるのは不便なので、面倒くさくなくないようにしていただきたい。	有料、無料の施設が点在することになりますが、管理や料金徴収等に面倒がないように工夫してまいります。
26	施設共通	リニューアル後のPR方法は、どのように考えているのか。	PRについてはこれからの検討となりますが、会社と一緒に有効な手段を考えてまいります。
27	施設共通	花と泉の公園には入口が2ヵ所あるので、それを活かす方法や使いやすい道路網を検討してほしい。	安全対策という面も含め、入口がきちんと案内できるようPRしてまいります。
28	施設共通	趣味の団体等が気軽に利用できる場所もあったほうが良いと思う。地域や団体とのつながりを大切にしてほしい。	人が集まる場所として、地域や各種団体とのつながりは大切であると感じています。 意見として、参考とさせていただきます。
29	施設共通	施設の廃止は検討しなかったのか。 (同様意見ほか2件)	廃止も視野に入れられるところですが、今回の見直しは、施設を存続させるための方策について検討を行ってきたものです。

No.	該当項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
30	施設共通	ワークショップでの意見が反映されていない。	<p>昨年8月～9月に行ったワークショップでは、いろいろな意見をいただきましたが、その全てを実現できるわけではないことをご理解願います。</p> <p>今回の見直し案は、ワークショップを含めて様々な市民の声を参考に、市で計画したものです。</p>
31	施設共通	今後もぼたん園を最重要として維持することを望みます。	今回の見直し案では、ぼたん園はこのまま継続することとしており、今後も維持管理に努めてまいります。
32	施設共通	外から（利用者）の目線も入れ、喜ばれる施設にしてほしい。	利用者に喜ばれるものとするよう、利用者の声をさらに伺いながら、検討を進めてまいります。
33	その他	令和元年度末で、花泉観光開発㈱の資本金正味残高はどれくらいか。	令和元年度の決算時で、会社設立時の資本金1億3,200万円が1,219万円程度に減っています。
34	その他	市町村合併した時点で、来場者の減少などの課題の原因や、その時点での対応策を考えなかったのか。	<p>平成23年度に総務省のアドバイザー派遣を受けたり、その後も市役所若手職員からアイデアを募るなど検討してきたところですが、これまでは実案に結びつかなかったものです。</p> <p>早く手を打てなかったのは反省点であると認識しています。</p>
35	その他	単年度だけではなく、5年、10年スパンの中長期的な計画が必要ではないか。（同様意見ほか2件）	今後の計画検討に向けて大切な視点であり、意見として参考とさせていただきます。

No.	該当項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
36	その他	集客する施設を整備するためには、ある程度の予算が必要ではないのか。	見直しに係る整備費については、花と泉の公園の維持費1年間分の費用（5～6千万円）程度が、市民理解を得る上でも適当であると考えています。大規模改修ができるような十分な予算は持てませんが、ソフト面での工夫を重ねながら集客を図っていきたいと考えています。
37	その他	市と花泉観光開発㈱との関係は、うまくいっているのか。	市と会社側とは毎月1回の意見交換会、週1回程度の事務レベルによる関係者協議を行い、共通認識を図りながら事務を進めています。
38	その他	いくらでも収入を上げるよう会社側の意識が大切では。	他自治体でも、第三セクターの経営としては、観光は非常に厳しい分野ですが、収益を上げる工夫は一層必要になってくるものと思われます。 会社とともに創意工夫してまいります。
39	その他	観光客の減少を、どう分析しているか。	当初は観光バスによる団体ツアー客が主でしたが、現在は旅行形態も個人や少人数のグループに変化してきており、入園者が減少したものと捉えています。
40	その他	見直し案がうまくいかなかったときは、新たな計画を作成する考えはあるのか。	この見直し案を恒久的に実施していこうとは思っていません。その時々ニーズに合わせた見直しを検討していきたいと考えています。
41	その他	藤沢の館ヶ森など、周辺施設との連携を検討すべきではないか。 (同様意見ほか2件)	館ヶ森エリアをはじめ周辺観光施設との連携は、PRなどを以前から行っていますが、なかなか成果が上がっていないのが現状です。必要性は認識していますので、良い方策を検討していきたいと考えています。

No.	該当項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
42	その他	今回の見直し内容を、しっかりと履行すること。	会社と十分に協議し、共通認識をもって取り組んでまいります。